

平成23年度(2011)：学術研究補助費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	筋力トレーニング後の血清中液性因子が筋肥大に与える影響	中里 浩一	教授	運動生理学
2	筋力トレーニングにおける動脈スティフネス増加のメカニズムを探る－中心血圧とMR I 緩和時間に着目して－	岡本 孝信	准教授	運動生理学
3	養護教諭の実践力と児童生徒の健康実態－優れた養護教諭に必要な実践力の解明－	鈴川 一宏	准教授	衛生学・公衆衛生学
4	大学スポーツ選手における過労性骨障害に関する研究－骨代謝マーカー・骨質関連マーカーに着目して－	若松 健太	助教	衛生学・公衆衛生学
5	教育の民衆統制と教師の専門的自律性の調和を目指すメカニズムに関する理論的研究－学校運営協議会の事例分析を通じて－	関 芽	助教	教養等II教職
6	骨格筋組織間質細胞の形態及び新たな機能の解明	小林 正利	准教授	健康教育
7	コーチ指導力向上に関する実践的研究	三輪 康廣	教授	コーチ学
8	高強度レジスタンス運動後における異なるクーリングダウン強度が大腿筋のMR I T2値に及ぼす影響	大野 誠	教授	スポーツ医学
9	足底圧分布計測システムを用いた競技力向上サポートとバイオメカニクス研究－日本体育大学におけるスポーツ科学研究の整備－	船渡 和男	教授	身体動作学
10	日常の練習データを用いた自転車競技のパフォーマンス評価方法の考案－新開発された風力抵抗式エルゴメーターを用いて－	西山 哲成	准教授	身体動作学
11	フィギュアスケート競技におけるジャンプの動作指導に関する研究－児童期における動作の特徴および技の習得－	古川 真衣	助教	身体動作学
12	月経周期がレジスタンス運動後の筋ダメージに与える影響－炎症マーカー、酸化ストレスを指標として－	須永 美歌子	准教授	体育科専門1
13	震災からの復興過程におけるスポーツ活動の意味と価値	亀山 有希	助教	体育科専門1
14	大学男子駅伝選手の競技力向上を目的とした年間のサポートシステムにおけるトレーニングプログラムが競技パフォーマンス改善に及ぼす影響に関する検討	別府 健至	准教授	体育科専門3
15	自律神経系活動の基準値作成への基礎的研究	小山内 弘和	助教	大学院：健康科学・スポーツ医科学系
16	新しいボールゲーム教材の開発とその有効性に関する研究－小学校低学年を対象として－	未永 祐介	助教	大学院：スポーツ教育・健康教育学系
17	異文化における日本人指導者のコーチング・メンタルモデル	高井 秀明	助教	大学院：トレーニング科学系
18	発育に伴う体分節パラメータの横断的研究	袴田 智子	助教	スポーツ・トレーニングセンター

平成22年度(2010)：学術研究補助費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	ゴルフのパッティング時のスピン量と打ち出しの角度に関する研究－プロゴルファーとアマチュアゴルファーを対象に－	木原 祐二	助教	運動方法 (ゴルフ)
2	「土俵の大きさの変化が競技力に与える影響について」	齋藤 一雄	准教授	運動方法 (相撲)
3	棒高跳の跳躍に有効な技術的ドリルに関する研究－ポール操作と踏切動作に着目して－	小林 史明	助教	運動方法 (陸上)
4	行動体力および防衛体力からみた中高生における運動部活動の必要性についての研究	鈴川 一宏	准教授	衛生学・公衆衛生学
5	高度な実践力を備えたスポーツ指導者養成を目指す大学院教育モデルの構築	高橋 健夫	教授	教職教育Ⅲ
6	スポーツ競技施設の微生物フローラの健康科学に関する基礎研究	長船 哲齊	教授	自然科学
7	異なる運動条件が感情・気分プロフィールおよび脳波の変化に及ぼす影響	大野 誠	教授	スポーツ医学
8	スポーツ選手における椎間板変性の危険因子に関する研究－身体特性および遺伝的な影響－	平沼 憲治	教授	スポーツ医学
9	競技スポーツにおけるトレーニング周期性モデルの構築－スポーツ・トレーニングにおける実践研究－	関口 脩	教授	トレーニング方法
10	主観的健康感の指標としての心拍変動解析(HRV)の可能性に関する検討	小山内 弘和	助教	大学院：健康科学・スポーツ医科学系

平成21年度(2009)：学術研究補助費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	レスリング競技選手におけるシーズン期の身体組成と血液性状の変化に関する研究	松永 修司	助教	運動処方
2	麻酔下あるいは非麻酔下ラット筋肥大モデルにおける筋・神経組織の適応とその分子メカニズムの差異	中里 浩一	准教授	運動生理学
3	大学エリートバドミントン選手におけるスマッシュパフォーマンスの向上	大束 忠司	助教	運動方法(バドミントン)
4	学童期における運動習慣および生活習慣が体力・健康に及ぼす影響	鈴川 一宏	准教授	衛生学・公衆衛生学
5	筋運動感覚残効に関する実験的研究－運動負荷条件からの検討－	鈴木 悠介	助教	教職教育Ⅱ
6	地教行政法改正後のスポーツ行政の移管に関する総合的研究－指定管理者制度導入との関連を含めて－	上田 幸夫	教授	社会教育学
7	高速度カメラと床反力計測による競技力向上サポートとバイオメカニクス研究－日本体育大学におけるスポーツ科学研究の整備－	船渡 和男	教授	身体動作学
8	自転車競技選手の競技力向上に関する研究－クランクトルクの分析データを用いて－	西山 哲成	准教授	身体動作学
9	生活習慣と組成および体力に関する研究	仲 立貴	助教	人文科学
10	有酸素運動とレジスタンス運動を組み入れたコンパウンド・サーキットトレーニングにおける生理的応答と有用性に関する研究	大野 誠	教授	スポーツ医学
11	スポーツ選手における椎間板変性の遺伝的影響	平沼 憲治	教授	スポーツ医学
12	「アンチ・ドーピング教育」カリキュラムの研究－「薬物撲滅(ドーピングを含む)に関する情報及び教育プログラム」を検討する－	依田 充代	准教授	体育科Ⅲ専門1
13	下肢筋力および大腰筋の左右バランスと歩行速度に関する研究－若年女性における検討－	韓 一栄	助教	発育発達
14	各種競技別におけるα-アクチニン3(ACTN3)遺伝子型と身体能力及び競技能力との関連に関する研究	黄 仁官	助教	大学院： トレーニング科学系
15	実際の動作速度と爆発的な動作速度意識の違いがパワー発揮に及ぼす影響の違い－片脚と両脚の違いから－	山内 亮	助教	スポーツ・ トレーニングセンター

平成20年度(2008)：学術研究補助費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	中学生および高校生における運動・スポーツが体力および健康に及ぼす影響	鈴川 一宏	准教授	衛生学・公衆衛生学
2	除負荷がラット筋内コラーゲン代謝に関わる分子群の発現に与える影響	廣瀬 立朗	助教	衛生学・公衆衛生学
3	画像処理による選手の重心位置測定に基づくゲーム分析を応用した競技力向上支援に関する基礎研究	角田 貢	准教授	情報処理
4	日本体育大学における競技力向上のためのアスリートデータベース (NSSUDB) の構築と活用に関する研究	船渡 和男	教授	身体動作学
5	スポーツ選手の身体組成と体力に関する研究	仲 立貴	助教	人文科学
6	有酸素性運動およびレジスタンス運動の運動開始時間の差異が運動後過剰酸素消費 (EPOC) に及ぼす影響	大野 誠	教授	スポーツ医学
7	スポーツにおける椎間板変性、腰痛および遺伝的要因との関連性	平沼 憲治	教授	スポーツ医学
8	スピードスケート競技における至適な年間トレーニング計画およびトレーニングメニュー 作成のための定期的フィットネス測定と試合分析 - 競技サポートのための実践研究 -	青柳 徹	准教授	体育科専門3
9	ドイツにおけるスポーツクラブの形成過程に関する研究 - 遊戯促進運動を中心に -	波多腰 克晃	助教	体育原理
10	同一強度の運動が運動後の自律神経系の変動に及ぼす影響	小山内 弘和	助教	大学院：健康科学・ スポーツ医科学系
11	各競技種目別 (個人・対人種目) における身体能力と遺伝子 (ACTN3) との関連に関する研究	黄 仁官	助教	大学院： トレーニング科学系
12	呼吸における止息が身体知覚に及ぼす影響	伊藤 彩	助教	スポーツ・トレーニングセンター
13	運動中の筋活動及び筋代謝に関する研究 - 筋赤外分光法 (NIRS) を用いて -	砂川 力也	助教	スポーツ・トレーニングセンター
14	多関節動作中にみられるBilateral deficitに関する研究	山内 亮	助教	スポーツ・トレーニングセンター

## 平成19年度(2007)：学術研究補助費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	海浜実習における実技指導・補助業務が主観的疲労度及び免疫能に及ぼす影響	鈴川 一宏	准教授	衛生学・公衆衛生学
2	コートスポーツにおけるH. 2 6 4 映像符号化を用いた4次元的游戏分析の研究	林 忠男	助教	情報処理
3	スキーにおけるターンの技術分析 - 指導の要点についてのアプローチ -	西山 哲成	准教授	身体動作学
4	レジスタンスエクササイズの前荷強度および反復速度の差異が運動後の酸素消費量およびエネルギー消費量に及ぼす影響	大野 誠	教授	スポーツ医学
5	肉離れ損傷モデルを用いた筋再生に関わる分子メカニズムの解明	平沼 憲治	教授	スポーツ医学
6	明治30年代の関西におけるスポーツの展開 - 大阪アサヒ・大阪毎日の紙面分析から -	綿貫 慶徳	助手	大学院：スポーツ文化・社会科学系

平成18年度(2006)：特別研究補助費＋奨励研究費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	エネルギー代謝からみたトレーニング及びコンディショニングの研究	山田 保	教授	運動処方
2	コンディショニング用途としての遺伝子構造・発現の網羅的解析	中里 浩一	助教授	運動生理学
3	2008年ゴルフルール変更にもなう高反発ヘッド低反発ヘッドの飛距離、ボールとの相性、ヘッドスピードの研究	中里 さや香	助手	運動方法(ゴルフ)
4	アーチェリー競技におけるHeart beat検出と競技パフォーマンスの検討	楠本 恭久	教授	教職教育Ⅱ
5	子ども地域活動の組織化の因子分析－学校組織、学校支援のNPOに着目して	亀山 有希	助手	社会教育学
6	フィールド研究における睡眠特性と生活習慣	黒田 稔	教授	人文科学
7	介護予防のための体操プログラムに関する一考察	伊藤 由美子	助手	体育科専門3
8	オリンピックディスタンス・トライアスロン競技が生態に及ぼす影響－血中生化学成分を指標にして－	原田 佐希	助手	大学院： トレーニング科学系
9	体育専攻学生の自尊感情と身体的自己価値の関連について－文系学生との比較－	上野 敦史	助手	スポーツ・ トレーニングセンター
10	効果的なクーリングダウン法の検討	砂川 力也	助手	スポーツ・ トレーニングセンター
11	アメリカンフットボール選手の頸部筋力に関する研究	槇野 陽介	助手	スポーツ・ トレーニングセンター

平成17年度(2005)：特別研究補助費＋奨励研究費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	全身トレーニング種目と局所トレーニング種目が部位別体水分量(上肢、体幹、下肢)に与える影響	伊藤 孝	教授	身体動作学
2	映像遅延表示システムを活用したトレーニング技術の習得について	伊藤 孝	教授	身体動作学
3	日体大の果たした社会教育職員の形成 -卒業生進路分析をとおして-	上田 幸夫	教授	社会教育学
4	走行中の自転車と固定式自転車エルゴメータ上での発揮パワーの違い	佐藤 孝之	助手	身体動作学
5	スポーツ損傷時の応急処置として行われるアイシング処置の最適条件に関する研究	入江 一憲	教授	スポーツ医学
6	スポーツイベントの観戦動機と要因に関する研究	佐野 昌行	助手	スポーツマネジメント
7	学生アスリートにおけるコンディショニング環境に関する研究 -体育系大学の場合-	河野 徳良	講師	体育科専門Ⅰ
8	アンチドーピングに関する研究 -日本体育大学におけるドーピングに関する現状と課題-	依田 充代	助教授	体育科Ⅲ専門1
9	『Jリーグ百年構想』に向けた各クラブの取り組みに関する研究	矢野 晴之介	助手	体育原理
10	「幼児期の運動遊び」 -幼稚園における体育指導講師の役割-	時本 久美子	教授	保育科幼児体育
11	本学スキー実技授業の技術学習度に関する研究 -実技力検定方法からの試み-	大出 一水	教授	野外方法(雪上)
12	中高年女性における、運動習慣の相違と身体組成について-MRIを用いた、身体各部位の筋・脂肪量特に内臓脂肪の検討を中心に-	谷代 一哉	助手	大学院：健康科学・スポーツ医科学系
13	明治期における関西のスポーツ受容に関する史的考察-新聞メディアの事業活動に着目して-	綿貫 慶徳	助手	大学院：スポーツ文化・社会科学系
14	レジスタンス・トレーニングにおける、認知的方略のメカニズム	対馬 豊	助手	大学院：トレーニング科学系
15	動作分析ソフトを用いた段階的トレーニングとコーチングの有効性の研究	下嶽 進一郎	助手	スポーツ・トレーニングセンター

平成16年度(2004)：特別研究補助費＋奨励研究費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	運動による自律神経の変動に関する研究	小山内 弘和	助手	衛生学・ 公衆衛生学
2	海浜実習における浜での安定した風速測定・GPSによる遠泳距離の測定なら びに紫外線量の測定・低水温時の体温保持のための着衣水泳時の直腸温・皮膚 温等の体温管理の研究	高橋 一衛	教授	運動生理
3	体操の運動強度に関する一考察 - ラベンダー体操の運動強度について -	小林 剛久	助手	運動方法(体操)
4	身体組成からみたバレーボール選手のピリオダイゼーションについての研究	根本 研	助手	運動方法 (バレーボール)
5	金管楽器演奏中における口腔内圧と呼出速度の関係	世川 望	助教授	芸術
6	和泉校舎におけるディスタンス・エデュケーションの実証的研究	佐藤 健	講師	情報処理
7	コート競技におけるDLT法を用いた位置および高さデータの確定、それによ る3次元ゲーム分析	古川 暁也	講師	体育科III 体育科専門2
8	児童の身体組成に関する横断的研究 - 運動習慣との関連を中心として -	津山 薫	助手	発育発達
9	スポーツクラブにおける地域貢献に関する研究	伊藤 嘉人	助手	体育社会学
10	水泳学習での泳力を規定する心理的要因	三宅 信花	助手	体育心理学
11	中高年における、身体組成と糖・脂質代謝に及ぼす運動習慣の影響 - MRIによる身体各部の筋量・脂肪量の評価を中心に -	谷代 一哉	助手	大学院：健康科学 ・スポーツ医科学系
12	プライオメトリックトレーニングマシンの有効性について	永友 憲治	助手	スポーツ・ トレーニングセンター
13	大学運動選手における体幹筋の特徴と回旋運動に関する研究	後藤 篤志	助手	スポーツ・ トレーニングセンター

平成15年度(2003)：特別研究補助費＋奨励研究費

(所属別)

No.	研究課題名	研究代表者名	職名	所属(研究室・機関)
1	ラグビーにおけるゲーム分析及びビデオ編集	柴田 紘三郎	助教授	運動方法(ラグビー)
2	障害者スポーツ選手のトレーニングサポートニーズに関する研究調査	田中 信行	講師	自然科学
3	ディスタンスエデュケーションの活用による学習効果の調査研究	佐藤 健	講師	情報処理
4	自転車漕ぎ運動時に発揮される力の効率について 一人値の評価	西山 哲成	助教授	身体動作学
5	大学相撲選手における6ヶ月間のトレーニングが生体に及ぼす影響について -四肢筋力、身体組成値、血液生化学値による検討-	斉藤一雄	助手	
6	一輪車乗り運動が児童の筋力と筋量に及ぼす影響	津山 薫	助手	
7	現代日本における学校と地域の連携に関する研究 -X中学校野球部の場合-	釜崎 太	助手	
8	筋力トレーニングによる高齢者の筋力増加のメカニズム解明に関する研究	衣笠 竜太	助手	
9	下肢血流制限バンド装着によるウエイトトレーニングおよび雪上トレーニングがスキー選手の パフォーマンスにおよぼす効果について	工藤 聡	助手	
10	青少年における背筋力指数に関する研究 -現在と過去のデータをもとに-	清水 みどり	助手	
11	陸上競技400m選手の競技力向上を目的とした低酸素トレーニングの有効性に関する研究	森田 修一	助手	
12	ハンドボール選手の全力走繰り返し能力の評価	宮本 奈芳美	助手	
13	上腕の局所的な低強度トレーニングが脂肪断面積および発揮筋力に及ぼす影響	秋山 幸代	助手	
14	鶏胸肉抽出物の経口摂取が陸上競技短距離選手における高強度パフォーマンスに及ぼす影響に関する 研究	小川 将司	助手	
15	日本における社会人野球の打撃技術に関する研究-スポーツの技術史に関する研究の一環とし て-	福井 元	助手	
16	生涯スポーツの場への個人参加行動の促進-フットサルクラブ個人参加枠への参加者の特徴分析を 通して-	吉川 健	助手	
17	女子長距離選手における鉄剤による血液動態	和田 霜析	助手	
18	関節の固定度がパフォーマンスに及ぼす影響	大石 健二	助手	
19	大学運動選手における体幹の筋力に関する研究	後藤 篤志	助手	
20	トランポリン競技時における使用器具の違いによる跳躍力の相違	久保 実由	助手	
21	フィールドテストからみたソフトテニス選手のフィジカルフィットネス-大学トップ選手と男 女ナショナルチーム選手との比較-	浅川 陽介	助手	
22	剣道具の細菌叢の研究：強酸性電解水を用いた防具「面」の清拭の試み	田中 和幸	助手	